

教員養成教育のためのガイドライン カリキュラムマップ

- ・ 中学校教育専修（数学科教育コース）
- ・ 小学校教育専修

教員養成教育のためのガイドライン

中学校教育専修(数学科教育コース)

教養基礎科目

「日本国憲法」

○到達目標:

【教育人間力:教養】

1. 憲法の人権・統治機構規定が市民生活においていかなる意義をもつかについて理解する。

【授業力:教科内容の理解】

1. 国家権力拘束規範としての憲法の実質を把握し立憲主義における個人の尊厳を理解する。
2. 憲法問題において適用されるべき理論を、当事者交代可能性という見地から展開できる。

○作業課題:

1. 人権規定と統治機構規定の関係をめぐる理解
2. 近代立憲主義に基づく憲法規範の遵守主体を明確化すること
3. 個別的な人権をめぐる判例を踏まえた違憲性判断基準の分析

「科学と環境」

○到達目標:

【教育人間力:探究心】

1. 常に新しい知見を取り入れ、合理的に環境および環境問題を理解しようする。

【教育人間力:教養】

1. 人の所作としての科学とは何であり、そこで得られる知見がどのような意味を持つのかを理解する。

○作業課題:

1. 科学の本質の理解
2. 環境の本質の理解
3. 個々の環境問題の本質の理解

「開発と環境」

○到達目標:

【教育人間力:教養】

1. 環境と開発におけるなジレンマを認識し開発に係る意思決定について理解する。

○作業課題:

1. 開発及び環境の「人間が生きる」という視点からの理解
2. 開発と環境保全との間にあるジレンマに関する分析と理解
3. 開発に関する意思決定や合意形成に関する理解

「紛争と平和」

○到達目標:

【教育人間力:教養】

1. 国際秩序の限界とそれを克服する試みにつき学際的な知の蓄積に触れ、主体的判断ができるようになる。

○作業課題:

1. 現代社会における紛争の発生原因について理解する。
2. 紛争への対応(予防的対応、事後的対応)の可能性を検討する。
3. 個別的事例の参照を踏まえ「紛争と平和」というテーマをめぐり主体的な見解をレポートに整理する。

「人口と食糧問題」

○到達目標:

【教育人間力:教養】

1. グローバルな視点から人口増加と食糧不足という現実的課題に向き合い、問題を解決する力を身につける。

○作業課題:

1. 人口増加の要因の理解
2. 食糧不足の要因とその課題
3. 食糧分配の格差の分析
4. 途上国における人口問題における教育の重要性とその考察

「生体メカニズムと生命倫理」

○到達目標:

○作業課題:

「科学技術と社会」

○到達目標:

○作業課題:

「人権確立の歴史」

○到達目標:

【教育人間力:教養】

1. 人権に関する課題の歴史的経緯を学際的に考察し、自分の考えで論述することができる。

○作業課題: 1. 学校における人権教育の趨勢についての理解
2. 障害を持つ子どもに対する教育の歴史についての理解
3. 日本における人権侵害の歴史についての理解

「市民社会と公共性」

○到達目標:

【教育人間力:教育的愛情】

1. 「公共性」という観点から、実社会におけるルールの必要性を学習する。

【授業力:教科内容の理解】

1. 様々な視点から「公共性」について考え、ルールの必要性を知る。
2. 「公共性」について学習することで、権利には義務が伴うことを理解する。

○作業課題: 1. 様々な視点から「公共性」とは何かを考察する。
2. 「公共性」という観点から、実社会におけるルールの必要性を学習する。
3. 「公共性」について学習することで、権利には義務が伴うことを学習する。

「地域社会研究」

○到達目標:

【教育人間力:倫理観】

1. 遍路歩き実習を通し、目標達成への強い意志を育成できる。

【教育人間力:教育的愛情】

1. グループ行動により、仲間に対するいたわりの心を育み、これを教育に活かすことができる。

【教育人間力:探究心】

1. 地域文化を知的・体験的に活かし、身の回りの事柄から高い知識欲への萌芽を育てる。

【教育人間力:教養】

1. 遍路文化の知識を基に、他の社会文化への興味を育てる。

【協働力:対人関係能力】

1. グループ行動により、対人関係の意識を育てる。

【協働力:協調性】

1. グループ行動により、メンバー間の協調性を育てる。

【協働力:社会性】

1. 遍路歩き実習を通して、道徳心の向上を図る。

○作業課題: 1. 遍路文化の知識を基に、他の社会文化への興味を育成。
2. 地域文化を知的・体験的に活かし、身の回りの事柄から高い知識欲への萌芽を育成。
3. 遍路歩き実習による、目標達成への強い意志の育成と道徳心の向上。
4. グループ行動により、対人関係の意識を育成、メンバー間での協調性を育て、仲間に対するいたわりの心を育み、教育へ活かす。

「西洋の文化研究」

○到達目標:

【教育人間力:探究心】

1. モデルとなりうる普遍的な文化伝統への親しみを育成する。

【生徒指導力:集団指導力】

1. 地域の歴史を知るために、主にヨーロッパの文学、音楽、美術についての具体的な作例を検討します。

○作業課題: 1. 主にヨーロッパの文学、音楽、美術に親しみを覚えること
2. 教員として、専門外への視野の広さを確保すること
3. 西洋の文化について、自分の言葉で語れること

「東洋の文化研究」

○到達目標:

【教育人間力:探究心】

1. 伝統的に日本人が陶冶してきた、東洋の文化を継承する態度を涵養する。

【生徒指導力:集団指導力】

1. 地域の歴史を知るため、主に近代の日本、朝鮮半島、中国大陸の文学、音楽、美術についての具体的な作例を検討します。

○作業課題:

1. 主に東アジアの文学、音楽、美術に親しみを覚えること
2. 教員として、専門外への視野の広さを確保すること
3. 東洋の文化について、自分の言葉で語れること

「阿波学(地域文化研究)」

○到達目標:

○作業課題:

「健康・スポーツ科学Ⅰ」

○到達目標:

【教育人間力:教育的愛情】

1. 安全な運動の行ない方, 病気予防・健康増進のための知識を深める。

【授業力:教科内容の理解】

1. スポーツ科学・医学・健康学の基礎的な理論を理解する。「跳ぶ」「泳ぐ」運動では、各種の運動技術の意味を力学的に理解する。
2. 各種のスポーツの技術と指導法, 学校保健に関する知識を深める。

【授業力:構想力】

1. うまくできない子どもの身体的世界だけでなく、精神的・社会的世界についても体験的に理解する。
2. 小学校体育科の目標, 及び各学年の目標について理解する。
3. 小学校体育科の内容を理解し, 各種の運動の場づくりの工夫, 学習者のグルーピング等に関する経験知を深める。

【授業力:展開力】

1. 教具を活用し, 受講生同士で観察・助言しあって, 提示された各種の運動の技術を理解し技能を高める。
2. グレードテストを通して, 各種の運動技能の評価基準に関する理解を深める。

○作業課題:

1. 本学実技教育研究指導センター体育教育分野のグレードテスト3級到達を目標として, 陸上運動, 器械運動, 水泳, 表現運動の技能を高める。
2. 健康と生活環境の関わり, 疾病の予防, 健康維持と生体機能の関係について, 講義ノートを作成して理解する。

「健康・スポーツ科学Ⅱ」

○到達目標:

【教育人間力:使命感】

1. 生涯スポーツとして技術と習慣性を習得し, スポーツに対する好意的態度を高める。

【教育人間力:倫理観】

1. スポーツを通し, モラルやルールを遵守する態度を高め, 倫理観を養う。

【教育人間力:教育的愛情】

1. スポーツの潜在危機を受容し安全に実施する態度を養い, 危機管理の必要性を理解する。

【教育人間力:探究心】

1. スポーツの本質的な価値や身体・精神的な影響について客観的知識のもと理解する。

【教育人間力:教養】

1. 歴史的背景を踏まえ, 観戦・情報・報道からスポーツが社会に与える影響を思索できる。

【協働力:対人関係能力】

1. 他者との対戦, チームでの協力等, スポーツにより, コミュニケーション能力を高める。

【協働力:協調性】

1. スポーツの戦術・戦略的思考や対戦から, 他者との関係性を築き, 協調性を高める。

【協働力:社会性】

1. スポーツを通して地域・学校・社会の様々な人間関係を構築し, 広域性を理解する。

【生徒指導力:基本的態度】

1. スポーツを通して, 公平かつ受容的な態度で接し, 豊かな人間的交流を行うことができる。

【生徒指導力:個人指導力】

1. スポーツを科学的・客観的知識を理解し, 具体的かつ理論的な指導ができるようになる。

【生徒指導力:集団指導力】

1. 他者と対戦, チームでの協力等, スポーツ活動により, 集団指導力を高める。

【授業力:教科内容の理解】

1. 生理学や医学・力学・心理学などスポーツを介した学際的領域としての基礎的な知見を理解する。
2. 社会的な情報を踏まえ, スポーツ社会学・経営学また原理・倫理学などを理解する。

【授業力:構想力】

1. スポーツの技術と習慣性を習得し, スポーツに対する好意的態度を高める。

2. スポーツを通し、モラルやルールを遵守する態度を高める授業を展開できる。
3. スポーツを安全に実施する態度を養い、危機管理の必要性を理解する。
4. 種々の情報・知識からスポーツの社会や生活に与える影響を思索できる授業を展開する。

【授業力:展開力】

1. スポーツの技術指導のために様々な言葉がけやでデモンストレーション能力を高める。
2. スポーツ指導で客観的知識のもと分かりやすい言葉遣いと感情に働きかける支援を行う。
3. スポーツを安全に実施する環境を整え、救急法や危機管理能力を習得する。
4. 子どもたちにルール・モラルを遵守する態度を養い、安全・平等に学習を展開する。

【授業力:評価力】

1. 子どもたちのスポーツに対する技術・態度・知識の定着をその行為から省察・改善できる。

【省察力】

1. 自身のより望ましい体力・スポーツの取り組み・態度を習得できるような環境を考える。

- 作業課題:
1. 自身にあった生涯スポーツの技術・習慣を習得する。
 2. スポーツの理論的理解と指導法を習得する。
 3. スポーツを通し、ルール・モラルを遵守する態度とコミュニケーション能力を向上する。
 4. 教養としてのスポーツ文化への興味と関心を養う。

「基礎情報教育」

○到達目標:

【教育人間力:教養】

1. 情報分野についてのプロジェクトを展開し、情報活用能力の基礎を身につける。

- 作業課題:
1. 情報活用能力の基礎的理解
 2. 情報分野についてのプロジェクトの展開
 3. プロジェクトの相互評価

「実践情報教育Ⅰ」

○到達目標:

【教育人間力:教養】

1. 情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、情報活用の実践力を身につける。

- 作業課題:
1. 情報活用実践力の理解
 2. 与えられた課題に対する情報の収集・判断・表現・処理・創造
 3. 主体的に設定した課題に対する情報の収集・判断・表現・処理・創造

「実践情報教育Ⅱ」

○到達目標:

○作業課題:

「実践情報教育Ⅲ」

○到達目標:

○作業課題:

「英語コミュニケーションⅠ」

○到達目標:

【教育人間力:教養】

1. 英語コミュニケーションに関する自信や能力を獲得し、英語話者と対話し幅広く考えることができる。

【協働力:協調性】

1. グループワークを通して、リーダーシップや問題解決のスキルを身につける。

- 作業課題:
1. 英語語彙力の強化
 2. 英語リスニング能力の改善
 3. 英語スピーチの発音とスピードの改善

「英語コミュニケーションⅡ」

○到達目標:

○作業課題:

「英語コミュニケーションⅢ」

○到達目標:

○作業課題:

「英語コミュニケーションⅣ」

○到達目標:

○作業課題:

「英語コミュニケーションⅤ」

○到達目標:

【教育人間力:使命感】

【教育人間力:倫理観】

【教育人間力:教育的愛情】

【教育人間力:探究心】

【教育人間力:教養】

1. 社会の国際化が要請する新しい教育課題や教育現場そのものの国際化を視野に入れ、これから教員になろうとしている本学学生を対象に、国際語としての英語でのコミュニケーション能力の伸張をはかるとともに、異文化を直接体験することによって教育現場において異文化理解教育や国際理解教育を推進していくための力量を高める。

- 作業課題:
1. 英語コミュニケーション能力の伸長
 2. 異文化の直接体験
 3. 異文化理解教育・国際理解教育を推進する能力の育成

「英語リーディングⅠ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 英文の構造理解と段落ごとの内容理解を鍵にして、英語リーディングを実践する。英文の構造を理解するとともに、英文読解の基礎となる語彙力を底上げする。
2. 自学習システムのE-learningを活用して、コンピューター利用の英語学習を実践する。

- 作業課題:
1. 英語読解力の増強
 2. 英語の語彙・文法理解
 3. E-ラーニングによる自学習の実践

「英語リーディングⅡ」

○到達目標:

【教育人間力:教養】

1. TOEIC500点レベルのテキストを用いて、ビジネス英語に慣れる。

【授業力:教科内容の理解】

1. 英文の構造を理解するとともに、英文読解の基礎となる語彙力を底上げする。
2. 自学習システムのE-learningを活用して、コンピューター利用の英語学習を実践する。

- 作業課題:
1. 英文構造を理解した上で英文の内容を理解している。
 2. 英文読解に必要な基本語彙を身につけている。
 3. 自らE-learningを有効に利用し、学習できている。

教育実践コア科目

「初等中等教育実践基礎演習」(算数・数学科教育コース)

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 学問としての数学の探究方法を理解できる。
2. 初歩的な数学を通して、正しい数学観の重要性や数学教育の意義を理解できる。

- #### ○作業課題:
1. 算数・数学科教育に必要な基礎的な数学の概念・構造の理解
 2. 数学が他分野や生活でどのように使われているかの理解

「初等中等教科教育実践Ⅰ」(算数・数学科教育コース)

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 小学校低学年の算数について数学的背景、学問的位置づけ、発展性を理解できる。

【授業力:構想力】

1. 低学年の児童の発達段階と学習指導要領の目標・内容の関わりを理解できる。
2. 低学年の算数について学習指導要領の目標・内容を理解できる。
3. 低学年の算数について教育目標を達成できる指導方法・授業構成を理解できる。
4. 低学年の算数について教育目標を達成できる単元計画を理解できる。

【授業力:展開力】

1. 低学年の算数について発達段階に沿った、指導・学習方法を理解し、指導計画作成・マイクロティーチングを通して実践的な指導力を身に付ける。

【授業力:評価力】

1. 指導計画作成・マイクロティーチングを通して自己の実践的指導力において不足している点を把握できる。

- #### ○作業課題:
1. 小学校低学年の算数の数学的背景、学問的位置づけ、発展性の理解
 2. 発達段階と学習指導要領の目標・内容との関係及び目標達成のための授業の在り方の理解

「初等中等教科教育実践Ⅱ」(算数・数学科教育コース)

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 小学校中・高学年の算数について数学的背景、学問的位置づけ、発展性を理解できる。

【授業力:構想力】

1. 中・高学年の児童の発達段階と学習指導要領の目標・内容の関わりを理解できる。
2. 中・高学年の算数について学習指導要領の目標・内容を理解できる。
3. 中・高学年の算数について教育目標を達成できる指導方法・授業構成を理解できる。
4. 中・高学年の算数について教育目標を達成できる単元計画を理解できる。

【授業力:展開力】

1. 中・高学年の算数について発達段階に沿った指導・学習方法を理解し、指導計画作成・マイクロティーチングを通して実践的な指導力を身に付ける。

【授業力:評価力】

1. 指導計画作成・マイクロティーチングを通して自己の実践的指導力において不足している点を把握できる。

- #### ○作業課題:
1. 小学校中・高学年の算数の数学的背景、学問的位置づけ、発展性の理解
 2. 発達段階と学習指導要領の目標・内容との関係及び目標達成のための授業の在り方の理解
 3. マイクロティーチングを通じた実践及び自己の算数指導力の分析・評価

「初等中等教科教育実践Ⅲ」(算数・数学科教育コース)

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 中学校数学について数学的背景、学問的位置づけ、発展性を理解できる。

【授業力:構想力】

1. 中学生の発達段階と学習指導要領の目標・内容の関わりを理解できる。
2. 中学校数学について学習指導要領の目標・内容を理解できる。
3. 中学校数学について教育目標を達成できる指導方法・授業構成を理解できる。
4. 中学校数学について教育目標を達成できる単元計画を理解できる。

【授業力:展開力】

1. 中学校数学について学習者の発達段階及び算数との系統性等に即した指導・学習方法を理解し、指導計画作成・マイクロティーチングを通して実践的な指導力を身に付ける。

【授業力:評価力】

1. 指導計画作成・マイクロティーチングを通して自己の実践的指導力において不足している点を把握できる。

- #### ○作業課題:
1. 中学校数学の数学的背景、学問的位置づけ、発展性の理解
 2. 発達段階と学習指導要領の目標・内容との関係及び目標達成のための授業の在り方の理解
 3. マイクロティーチングを通じた実践及び自己の数学指導力の分析・評価

教職共通科目

「教職論」

○到達目標:

【教育人間力:使命感】

1. 教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする意識が理解できる。

【教育人間力:倫理観】

1. 教職が、様々な学校課題において、高い倫理観や強い意志が職務を果たす基盤となっていることが理解できる。

【教育人間力:教育的愛情】

1. 子どもの安全と健康について理解し、学校現場における安全教育の重要性が認識できる。

【教育人間力:探究心】

1. 学校現場で生じる種々の問題に対して理解を深め、その対応において自分の考えを持つことができる。

【教育人間力:教養】

1. グループ討議などを通じて、コミュニケーションスキルを体得する。

【協働力:対人関係能力】

1. 教師の職務や役割を理解し、指導における言動が与える影響とコミュニケーションの重要性を認識できる。

【協働力:協調性】

1. 組織の一員として、協働して学校における諸問題を解決することの意味と意義が理解できる。

【協働力:社会性】

1. 学校の諸課題の解決が地域や保護者との良好な関係の上に成り立っていることを理解できる。

○作業課題:

1. 教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする意識の理解
2. 教職が、様々な学校課題において、高い倫理観や強い意志が職務を果たす基盤となっていることの理解
3. 子どもの安全と健康についての理解
4. 学校現場で生じる種々の問題に対する分析と、教育問題に対する自らの意見の表明
5. グループ討議などを通じて、コミュニケーションスキルを体得
6. 教師の職務や役割を理解し、指導における言動が与える影響とコミュニケーションの重要性の分析と理解
7. 組織の一員として、協働して学校における諸問題を解決することや、地域・保護者との良好な関係の必要性についての意味や意義の理解と考察

「人間形成原論」

○到達目標:

【教育人間力:使命感】

1. 教育の必要性について、18世紀以来の教育家の著作と理論に即して理解できる。

【教育人間力:倫理観】

1. 啓蒙主義の倫理観を中心に、存在と当為、善と悪について理解できる。

【教育人間力:教育的愛情】

1. 啓蒙主義とロマン主義の概要を知り、現代の子ども観の背景を理解できる。

【教育人間力:探究心】

1. 西欧近代の「批判」の意味が理解できる。

【教育人間力:教養】

1. 「教養」とは、「知ることを楽しむこと」であることが理解できる。

○作業課題:

1. 18世紀以来の教育家の著作と理論に即した教育の必要性の理解
2. 啓蒙主義とロマン主義における倫理観の検討
3. 現代の子ども観の思想史的背景の考察
4. 現代の教育課題の析出と分析

「発達心理学」

○到達目標:

○作業課題:

「教育心理学」

○到達目標:

○作業課題:

「教育制度・経営論」

○到達目標:

○作業課題:

「教育社会学」

○到達目標:

○作業課題:

「教育課程論」

○到達目標:

【教育人間力:使命感】

1. 学習指導要領改訂と共に学校教育や授業も改善される必要があり, そのために学び続けることの重要性を理解する。

【協働力:協調性】

1. 教育課程の実現のために, 子どもの実態や目標の共有化を図り, 他の教職員と連携を図る必要があることを理解する。

【協働力:社会性】

1. 特色ある教育課程の開発と実施のためには家庭や地域の理解と協力が必要であることを理解する。

【授業力:構想力】

1. 教育活動は全般的に目標の具体化と共有化が重要であることを理解する。
2. 教育課程の編成の考え方, 学習指導要領の意義や変遷, 現行及び新しい学習指導要領の特徴を理解する。

- 作業課題:
1. 教育課程の基本概念的説明
 2. 学習指導要領の変遷の理解
 3. 新学習指導要領の特色の理解
 4. 「知の総合化」による学習事項の総合関連

「教科教授学習論」

○到達目標:

○作業課題:

「初等国語科教育論」

○到達目標:

【授業力:構想力】

1. 小学校における国語科教育の目標・意義を理解し, 説明できる。
2. 小学校における国語科授業の内容と学習方法を理解し, 説明できる。
3. 先行実践を検討し, 小学校における国語科授業の構成を理解し, 説明できる。

- 作業課題:
1. 小学校学習指導要領(国語科)の内容と特徴の分析
 2. 実践報告に基づく、ジャンル・言語活動に応じた授業方法の特色の検討
 3. 文章の構造に着目した教材分析

「初等社会科教育論」

○到達目標:

【授業力:構想力】

1. 学習指導要領の目標構造や内容構成を検討し, 初等社会科の全体構成について理解する。
2. 初等社会科の学習指導における留意点を学年別に整理し, 記述する。
3. 初等社会科における単元構成の特性を内容構成論の観点から分析し, 記述する。

- 作業課題:
1. 初期社会科と現行の社会科との共通点および相違点を指摘する。
 2. 学習指導要領における教科目標と学年目標の構造を指摘する。
 3. 学習指導要領における内容構成の系統性を指摘する。
 4. 教科書構成における学年間の共通点および相違点を指摘する。
 5. 授業実践映像を視聴し, 学習指導上の特色と課題を指摘する。

「算数科教育論」

○到達目標:

【授業力:構想力】

1. 算数教育の目標・意義, 日本の算数教育の変遷, 諸外国の状況を理解できる。
2. 小学校算数の4つの指導領域の内容及び授業構成について理解できる。
3. 小学校算数における授業設計の方法及び授業評価の方法を理解できる。

- ### ○作業課題:
1. 算数科教育の目標・意義, 日本の算数教育の変遷の理解
 2. 小学校算数の内容・指導方法の理解
 3. 算数科における授業設計の方法, 授業評価の方法の理解
 4. 諸外国の算数教育の状況・課題の理解

「初等理科教育論」

○到達目標:

【協働力:協調性】

1. グループ作業を通して, 各個人の役割を全うするとともに, 互いに補うべき点を把握した行動がとれる。

【授業力:教科内容の理解】

1. 自然科学の基本概念を理解し, 平易な言葉で説明できる。
2. 物質とエネルギー, 生命・地球の内容を理解し, 説明できる。

【授業力:構想力】

1. 小学校の各学年の指導内容とその系統性を理解する。
2. 各学年, 単元の理解すべき教科内容を把握する。
3. 授業内容に即した教材を選択し, 実験および観察を用いた授業方法を考案できる。
4. 単元を通じて, 多様な授業方法を取り入れるとともに, 各授業間の関連付けがある単元構成ができる。

【授業力:展開力】

1. 小学校理科の発達段階に沿った指導, 学習方法を理解し, 学習指導案作成や模擬授業を通して指導力を身につけることができる。

【授業力:評価力】

1. 模擬授業を省みて, 課題の探索と解決する能力と, それを表現する文章力を養う。

- ### ○作業課題:
1. 理科の各単元の内容分析
 2. 模擬授業の考案とその指導案作成および実践
 3. 模擬授業に対する議論
 4. 模擬授業に対する評価のレポート作成

「生活科教育論」

○到達目標:

【協働力:協調性】

1. 単元開発や環境整備, 活動支援等においては個人では限界があり, 他の教師と協力する必要性やその方法を理解する。

【協働力:社会性】

1. 地域の課題やフィールドを扱うことが多いために, 家庭や地域の理解と協力が必要なことを理解する。

【授業力:構想力】

1. 生活科の趣旨や目標について事例を踏まえて具体的に理解する。
2. 単元開発や学習指導, 評価の仕方について事例を踏まえて具体的に理解する。

【授業力:展開力】

1. 自己評価や相互評価により学習改善を図ったり, 自己の成長を自覚するための具体的な方法や評価観を理解する。

【授業力:評価力】

1. 絵や文や記録カード, 子どもの姿を通して学習者の学習状況や関心意欲を把握し, 軌道修正を行う方法を理解する。

- ### ○作業課題:
1. 生活科の目標・内容による教科書分析
 2. 授業づくりと学習支援の手だての理解
 3. 大学構内の自然観察に基づく教材作成
 4. 自分史づくりを通じた自己の省察

「初等音楽科教育論」

○到達目標:

○作業課題:

「図画工作科教育論」

○到達目標:

○作業課題:

「体育科教育論」

○到達目標:

【教育人間力:教育的愛情】

1. 「場」の論理による教育的関係を理解し、子どもから学ぶ教師の身体に共感する。

【授業力:構想力】

1. 体育科の目標分類と一般学力論との関係認識を深め、考える体育の志向性を高める。
2. 3つの学習過程の組織化を知り、運動教材や子ども(学年)によって近い分けることを理解する。

【授業力:展開力】

1. 「よい体育授業」を構成する「内容的条件」より、教材教具の開発工夫を实际を理解する。
2. 「よい体育授業」の構造を理解し、授業の勢いと雰囲気の意味と实际を科学的に理解する。
3. 「よい体育授業」を構成する「基礎的条件」より、教師の相互作用の意義を理解する。

○作業課題:

1. 体育分野:「場」の論理による教育的関係の理解
2. 体育分野:「よい体育授業」の構造についての理解と分析
3. 保健分野:保健授業の理論、構成の理解
4. 保健分野:保健授業方法の理解とその応用

「初等家庭科教育論」

○到達目標:

【協働力:協調性】

1. グループ活動を取り入れて、実験や模擬授業を行うことができる。

【授業力:教科内容の理解】

1. 実験を取り入れた授業を行うことを通して、衣食住に関する基礎的な知識を習得することができる。

【授業力:構想力】

1. 小学校家庭科の教科内容を理解して、小学生にあわせた実験方法を工夫できる。
2. 各グループで実験を取り入れた学習指導案を作成することができる。

【授業力:展開力】

1. 各グループで模擬授業を行うことにより、実験を取り入れた場合の授業方法を考えることができる。
2. 自己評価・相互評価を行い、適切な学習指導案と授業の流れについて考えることができる。

【授業力:評価力】

1. 模擬授業を受けて、自分が指導する場合の工夫点を記述することができる。

○作業課題:

1. 各専門内容と学習指導要領との関連性の理解
2. グループでの学習指導案の作成と模擬授業の実践
3. 実験を取り入れた学習指導案の作成
4. 小学校家庭科の学問的背景の理解

「道徳教育指導論」

○到達目標:

【教育人間力:教育的愛情】

1. 子どもの成長を道徳教育の視点から理解し、教師と子どもとの教育的関係について考えることができる。

【生徒指導力:個人指導力】

1. 各学校段階における指導の重点を理解し、子どもの発達の段階に応じた指導を工夫することができる。

【授業力:構想力】

1. 学習指導要領を基に道徳教育の目標・内容等について理解し、道徳教育の意義をとらえることができる。
2. 資料を選定して道徳の時間の展開について構想し、道徳の学習指導案を作成できる。

【授業力:展開力】

1. 子どもの感じ方や考え方を予測し、ねらいに迫るための発問を考えることができる。

○作業課題:

1. 道徳教育の目標・内容等の理解
2. 道徳学習指導案の作成
3. 発達の段階に応じた指導の工夫

「特別活動指導論」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 特別活動成立の歴史的経緯を踏まえ、これからの特別活動の在り方について考察できる。

【授業力:構想力】

1. 子どもの実態を踏まえて、特別活動の実践を構想できる。

○作業課題:

1. 学校における特別活動の趨勢についての理解
2. 特別活動の指導案作成とその実践をもとにした省察

「授業研究論」

○到達目標:

○作業課題:

「教育評価論」

○到達目標:

○作業課題:

「教育工学」

○到達目標:

○作業課題:

「生徒指導論(進路指導を含む。)」

○到達目標:

【生徒指導力:基本的態度】

1. 多様な子どもの実態を理解し, 教師として公平に生徒指導に当たるために必要な知識を獲得する。

【生徒指導力:個人指導力】

1. 様々な課題場面に適切に対応できる指導力にどのようなものがあるか理解する。

- 作業課題:
1. 学校における生徒指導についての理解
 2. いじめ, 不登校に対する心理的支援に関する理解
 3. 子ども理解に基づく生徒指導の実践に関する理解

「カウンセリング論」

○到達目標:

○作業課題:

「数学科教育論」

○到達目標:

【授業力:構想力】

1. 数学科教育の目標・意義, 日本の数学科教育の変遷, 諸外国の状況を理解できる。
2. 中学校数学の4つの指導領域の内容及び授業構成について理解できる。
3. 中学校数学における授業設計の方法及び授業評価の方法を理解できる。

【生徒指導力:個人指導力】

1. 様々な課題場面に適切に対応できる指導力にどのようなものがあるか理解する。

- 作業課題:
1. 数学科教育の目標・意義, 日本の数学科教育の変遷の理解
 2. 中学校数学の内容・指導方法の理解
 3. 数学科における授業設計の方法, 授業評価の方法の理解
 4. 諸外国の数学科教育の状況・課題の理解

「数学科教材論」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 数学科の教科書の単元の内容について数学的な背景・系統性を理解できる。

【授業力:構想力】

1. 学習者の思考力・表現力を高める教材について理解できる。
2. 目標達成に有効な教材を理解し, 具体的題材について教材研究・教材開発ができる。
3. 目標達成のために教材を有効に活用する授業展開について理解できる。

- 作業課題:
1. 教科書の単元の内容の数学的な背景や系統性についての理解
 2. 学習者の思考力・表現力を高める教材についての理解
 3. 教科書の題材についての教材研究・教材開発
 4. 教材を有効に活用する授業展開の作成

「数学科授業論」

○到達目標:

【授業力:構想力】

1. 授業内容が学習者の認知的側面・情意的側面に与える効果について理解できる。
2. 数学科の教科書の単元の目標・題材について理解できる。
3. 中学校数学の教科書の単元について、具体的な授業の構成方法を理解できる。
4. 学習者の思考力・創造力を育成する授業の構築方法について理解できる。

【授業力:構想力】

1. 学習者の思考力・表現力を高める教材について理解できる。
2. 目標達成に有効な教材を理解し、具体的題材について教材研究・教材開発ができる。
3. 目標達成のために教材を有効に活用する授業展開について理解できる。

- ### ○作業課題:
1. 授業内容と学習者の認知・情意の関連の理解
 2. 生徒の思考力・創造力を育成する授業の構築方法の理解
 3. 教科書の単元の目標・内容の理解
 4. 教科書の単元についての授業計画の作成

「数学科教育学特論」

○到達目標:

【授業力:構想力】

1. 日本及び諸外国の数学教育の現状を理解し、教育課題と目標の関連を理解できる。
2. 「数学的な活動」の主旨、内容、指導方法について理解できる。
3. 「数学的な活動」を有効に実施するための教材開発・授業設計等ができる。

- ### ○作業課題:
1. 数学科教育の変遷、目標と内容、指導と評価の理解
 2. 数学教育の現状と課題の理解
 3. 「数学的な活動」の主旨、内容、指導方法の理解
 4. 「数学的な活動」を効果的に実施するための教材開発・授業設計

「ふれあい実習」

○到達目標:

○作業課題:

「附属校園観察実習」

○到達目標:

○作業課題:

「主免教育実習」

○到達目標:

○作業課題:

「主免教育実習事前事後指導」(全体)

○到達目標:

○作業課題:

「主免教育実習事前事後指導」(数学科教育コース)

○到達目標:

【授業力:構想力】

1. 教科書の単元について、それまでの既習事項に基づき学習者の理解状況を考察できる。
2. 教科書の単元について指導目標に基づく授業構築が理解できる。
3. 教科書の単元について、指導教材、指導方法、指導形態、評価方法の選択ができる。
4. 教科書の単元について学習指導案が作成できる。

【授業力:展開力】

1. 模擬授業を通して基礎的・基本的な授業態度に関する改善点が把握できる。
2. 模擬授業を通して教授活動の構成と展開に関する改善点が把握できる。
3. 模擬授業を通して学習活動の喚起と促進に関する改善点が把握できる。
4. 模擬授業を通して学習活動に対する評価に関する改善点が把握できる。

【授業力:評価力】

1. 模擬授業から子どもの理解状況を推察し、その結果を授業計画の改善に活用できる。

- ### ○作業課題:
1. 指導目標を達成できる学習指導案の作成
 2. 作成した学習指導案に基づく模擬授業
 3. 模擬授業の分析・評価
 4. 学習指導案・模擬授業の評価を基にした授業計画の改善

「副免教育実習」

○到達目標:

○作業課題:

「教職実践演習(幼・小・中・高)」

○到達目標:

○作業課題:

専修専門科目

「学校と人間形成」

○到達目標:

【教育人間力:使命感】

1. 明治期の師弟関係の理解を通じ、現代の教師のあり方を省察する視点を得る。

【教育人間力:倫理観】

1. お雇い外国人と生徒の交流を考察し、西洋と日本の倫理観の違いを理解できる。

【教育人間力:教育的愛情】

1. 明治期西洋人の見た「日本の子ども」を手がかりに、歴史のなかの子どもを理解できる。

【教育人間力:探究心】

1. 歴史資料にもとづいて事象を実証的に考察する方法を理解できる。

【教育人間力:教養】

1. 日本の教育の近代化のあり方を知り、伝統と革新の絡み合いについて理解できる。

- ### ○作業課題:
1. 師弟関係の歴史の変遷についての理解
 2. 西洋人の見た「日本の子ども」の検討
 3. 西洋と日本の倫理観の比較考察
 4. 教育の近代化における伝統と革新の位相の分析
 5. 自分の教育経験に関する歴史資料を用いた発表

「学校制度と教育法規」

○到達目標:

○作業課題:

「学校の組織と集団」

○到達目標:

【教育人間力:使命感】

1. 学校教育の機能と教職の果たす役割を理解し、教師の在り方をとらえることができる。

【協働力:協調性】

1. 教師間の関係を醸成し、協働を生み出す対応の在り方をとらえることができる。

【協働力:社会性】

1. 保護者との連携の在り方を理解すると共に、関係構築の方法を修得することができる。

【生徒指導力:基本的態度】

1. 事例等から子どもとの信頼関係を醸成する教師の指導行動の特徴をとらえることができる。

【生徒指導力:個人指導力】

1. 問題を抱える子どもの変容を促す事例から、具体的な対応の在り方をとらえることができる。

【生徒指導力:集団指導力】

1. まとまりのある学級をつくる教師の特徴を理解し、指導の在り方をとらえることができる。

【授業力:評価力】

1. 子どもの動的にとらえ、常に子ども理解に努める教師の在り方をとらえることができる

○作業課題:

1. 学校教育の機能と学級経営の位置づけの理解
2. 教師と子どもの関係構築の在り方に関する事例研究
3. 学習集団づくりを促す授業設計の在り方に関する事例研究
4. 集団におけるルール、ルーティンの構築手順に関する事例研究
5. 自律的な「学習集団」を形成するための条件の理解と構築手順に関する事例を通じた考察

「臨床心理学」

○到達目標:

○作業課題:

「学校教育心理学演習」

○到達目標:

○作業課題:

「学校の危機管理」

○到達目標:

【教育人間力:倫理観】

1. 学校危機において、高い倫理観が危機回避に重要な要素であることが理解できる。

【教育人間力:教育的愛情】

1. 子どもの安全と健康について理解し、学校現場における安全教育の重要性が認識でき、それを実際の指導に生かすための方策が提案できる。

【教育人間力:探究心】

1. 学校現場で生じる種々の問題に対して、背景を理解し、対応について自分の考えを持つことができる。

【教育人間力:教養】

1. あらゆる危機への対応手法を身につけることができる。

【協働力:対人関係能力】

1. 教師の職務や役割を理解し、危機状況における適切な言動をとることができる。

【協働力:協調性】

1. 組織の一員として、協働して学校における諸問題を解決することの意味と意義が理解できる。

【協働力:社会性】

1. 学校の諸課題の解決において、地域や保護者の協働の必要性を理解することができる。

○作業課題:

1. 学校危機において、高い倫理観が危機回避に重要な要素であることについての理解
2. 学校現場における安全教育の重要性についての理解と、それを実際の指導に生かすための方策の提案
3. 学校現場で生じる種々の問題に対する分析と、対応策についての意見表明
4. 危機対応についての基本的スキルの体得
5. 危機状況における適切な言動の分析と理解
6. 組織の一員として、協働して学校における諸問題を解決することの理解
7. 問題解決にあたって、地域・保護者との良好な関係についての理解

「発達臨床心理アセスメント」

○到達目標:

【教育人間力:探究心】

1. 心理検査の被検者体験および自己分析を通して、自己のあり方を客観的にとらえることができる。

【教育人間力:教養】

1. さまざまな心理検査の背景にある発達理論および人格理論を理解している。

【生徒指導力:個人指導力】

1. 子どもの抱える問題や発達を心理学的に把握する視点が持てる。

○作業課題:

1. 心理検査の被検者体験および自己分析
2. 心理検査の背景にある発達理論および人格理論の理解
3. 子どもの問題行動や発達に関する心理学的理解

「総合学習論」

○到達目標:

【協働力:協調性】

1. 単元開発や環境整備、活動支援等においては個人では限界があり、他の教師と協力する必要性やその方法を理解する。

【協働力:社会性】

1. 地域の課題やフィールドを扱うことが多いために、家庭や地域の理解と協力が必要なことを理解する。

【授業力:構想力】

1. 子どもの実態や願い、興味関心を踏まえて単元を構想する。
2. 子どもの実態を踏まえて目標を設定したり、育成する力を明確にすることの重要性と方法について理解する。
3. 総合的な学習の時間の趣旨や目標について事例を踏まえて具体的に理解する。
4. 単元開発や学習指導、評価の仕方について事例を踏まえて具体的に理解する。

【授業力:展開力】

1. 自己評価や相互評価により学習改善を図ったり、自己の成長を自覚するための具体的な方法や評価観を理解する。

【授業力:評価力】

1. 作文や記録カード、記録シート、子どもの姿を通して学習状況や関心意欲を把握し、軌道修正を行う方法を理解する。

○作業課題:

1. 総合的な学習の時間の創設の趣旨理解
2. 先進的実践事例の手だての整理・分析
3. 単元開発と学習指導及び学習評価における手だての再構成

「実技指導能力育成論演習」

○到達目標:

○作業課題:

「初等国語」

○到達目標:

【教育人間力:使命感】

【教育人間力:倫理観】

1. 教育史上の遺産に学び子どものとらえ方、発達課題把握、言語発達の筋道など国語科指導の基本を学ぶことができる。

【教育人間力:教育的愛情】

1. 作文の読み取りなどを通じて、子どもを育てる受容的評価の実際を学ぶことができる。

【教育人間力:探究心】

1. 教師の卵としての自分の学びを省察する基礎を考えることができる。

【教育人間力:教養】

1. 社会人の基礎を国語科指導と結んで考えることができる。

【協働力:対人関係能力】

【協働力:協調性】

【協働力:社会性】

1. 書くこと・作文指導・通信などの役割について知ることができる。

【生徒指導力:基本的態度】

1. 作文指導を通じて子どもとの交流のしかたの基礎を学ぶことができる。

【生徒指導力:個人指導力】

1. 小学校6年間の発達のみちすじを作文の解釈を通して具体的に学ぶことができる。

【生徒指導力:集団指導力】

1. 書くこと・作文指導によって、個別指導集団指導の絡ませ方を学ぶことができる。

【授業力:教科内容の理解】

1. 国語科教育の理論的基礎となる言語の働きについて知ることができる。
2. 作文の読み取りを通して子どもの言語能力の把握法を具体的実践的に学ぶことができる。

【授業力:構想力】

1. 子どもの実態に即して学習指導を展開する基礎・基本を学ぶ。

【授業力:展開力】

1. 作文指導を通じて個人と学級全体の具体的評価・診断法を学ぶことができる。

【受領力:評価力】

1. 優れた指導者の評価法・評価の観点を推察することができる。

【省察力】

1. 作文指導を基礎とする国語科の構造を学び、自己の言語生活に照らして省察力を育てる。

○作業課題:

1. 言語の生成と発達を支える言語のしくみ(言語理論)を把握する。
2. 国語科指導の基礎・基本として、「作文指導」の基本を学ぶ。
3. 「作文指導」の基礎力としての「作文読解力」を演習する。(作文読み取り実験)
4. 授業ごとに、ミニレポートを書き、自らの学びを捉え直す。
5. ミニレポートをもとにした交流によって、仲間とともに学ぶ学び方を学ぶ。

「初等社会」

○到達目標:

【授業力:構想力】

1. 学習指導要領を読み込み、小学校社会科の目標と教科内容の体系を理解する。
2. 複数の教科書の内容を分析し、小学校社会科の内容知と方法知のタイプをつかむ。子どもの社会認識を深めることをねらいに、ワークシートをつくり、その内容を互いに検討する。

【授業力:展開力】

1. 個人又はグループで構想した授業に対応する板書を実践し、その内容を互いに検討する。

○作業課題:

1. 学習指導要領における小学校社会科の目標と教科内容の体系の理解
2. 「知識の構造」を活用した小学校社会科教科書記述の分析と評価
3. 子どもの社会認識を深めるワークシートの作成

「算数」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 集合、論理、関係、関数、数、図形、確率、統計等についての基礎的な概念を理解できる。
2. 小学校算数の内容について、その背景にある数学の考え方・概念が理解できる。

○作業課題:

1. 小学校算数の内容の数学的構造・体系の理解
2. 小学校算数の内容の背景にある考え方・概念の理解

「初等理科」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 小学校理科の学習内容の背景にある科学的素養を身に着け、科学的なものの見方と考え方をに対する理解を深めるとともに、教材等への応用を考察する。
2. エネルギーと仕事、生命、元素、地震などの基礎的概念の理解。

○作業課題:

1. 小学校算数の内容の数学的構造・体系の理解
2. 小学校算数の内容の背景にある考え方・概念の理解

「生活」

○到達目標:

○作業課題:

「初等音楽Ⅰ」

○到達目標:

【教育人間力:教養】

1. 鑑賞を通して様々な時代や地域の音楽のあり方が理解できる。

【協働力:協調性】

1. 合唱や指揮を通して、音楽科における協調性やリーダーシップの大切さを理解できる。

【授業力:教科内容の理解】

1. 楽典、ソルフェージュ、合唱、ピアノ、声楽を通して、楽譜の読み方や基本的な実技能力を習得する。

2. 楽典、ソルフェージュ、合唱、ピアノ、声楽を通して、小学校音楽科の教師として必要な技能とは何かを理解する。

【授業力:展開力】

1. 合唱や指揮、声楽を通して、音楽科の教師として必要な正しい姿勢や発声、発音ができる。

○作業課題: 1. 楽典とソルフェージュ

2. 鑑賞

3. 合唱

4. ピアノ

5. 声楽

「図画工作Ⅰ」

○到達目標:

○作業課題:

「初等体育Ⅰ」

○到達目標:

【教育人間力:教育的愛情】

1. 安全に留意した陸上・器械・水泳・ボール・表現運動の学習指導の方法について体験して理解する。

【生徒指導:個人指導力】

1. 受講生同士で試技を観察し、教え合うことで、運動のつまずきの原因を見抜く洞察力を高める。

【授業力:教科内容の理解】

1. ボールゲームの分類を実技を通して体系的・構造的に理解する。

【授業力:構想力】

1. 各種のボールゲームの作戦を立て、それを遂行する中で子どもの見方・考え方を理解する。

2. 小学校体育科の目標、及び陸上・器械・水泳・ボール・表現運動の各学年の目標について理解する。

3. 小学校体育科の陸上・器械・水泳・ボール・表現運動の各学年の内容と指導法について理解する。

4. 器械運動の授業内容のレポートを指導案の形式で作成する。

【授業力:展開力】

1. 小学校の体育授業における教具の活用法、各種の運動技術、つまずきに対する適切な助言について理解し、各運動領域の技能を高める。

2. 小学校体育授業における能率的な器具等の準備と片付け方、場づくりの工夫について体験して理解する。

3. 小学校の体育授業における学習カードの必要性と具体例、評価の観点と基準について理解する。

○作業課題: 1. 短距離走・ハードル走における脱力とリレーのバトンパスの予測について理解する。

2. 器械運動の授業記録を指導案形式のレポートにまとめ、各種の技の技術と指導法について理解する。

3. 学生相互に補助し合って各種泳法の指導法を理解する。

4. ボール運動に関する問題解答のレポートを作成し、理解を深める。

5. 表現運動の授業記録を舞踊ノートにまとめ、発表会をめざした作品作りを通して、身体表現の方法と指導法について理解する。

「初等家庭」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 家庭科の背景にある衣食住家族関係を自然科学と社会科学から基礎的知識を理解する。

2. 小学校家庭科と実生活を結びつける適切な教材を選択する。

【授業力:構想力】

1. 小学校家庭科の領域内容及び授業構成について理解できる。

○作業課題: 1. 初等家庭の学習指導要領の目標と構造の理解

2. 初等家庭に関する基礎的知識の理解

3. 家庭科教材の選択と分析

「代数学Ⅰ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 線形代数の中のベクトル, 行列, 行列式の理論を理解し本質的な面を説明できる。
2. 学校の図形の数学とベクトルの関係, 面白さを理解し説明できる。

- ### ○作業課題:
1. 線形代数の基礎理論の様々な定理の証明と応用の理解
 2. 学校での図形の数学とベクトルの関係の分析
 3. 図形の面積・体積と行列式の関係の考察

「代数学Ⅱ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 線形代数の中の行列の基本変形, 対角化を理解し本質的な面を説明できる。
2. 学校の連立一次方程式を線形写像を通して理解し説明できる。

- ### ○作業課題:
1. 線形代数の中の行列の基本変形, 対角化の様々な定理の証明と応用の理解
 2. 学校の連立一次方程式の統一的解法と解の構造の分析
 3. 行列の対角化と対角化可能性の考察

「代数学Ⅲ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 演算の備わった集合を扱う群論や環論を理解し本質的な面を説明できる。
2. 学校の数の加法や乗法を群論や環論の立場から理解し説明できる。身近な問題に応用できる。

- ### ○作業課題:
1. 群論や環論の様々な定理の証明と応用の理解
 2. 学校の整数や実数などの加法や乗法の備わった数の集合の構造についての考察
 3. 群論の立場からの図形の対称性の考察

「代数学特論」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 方程式論と四則演算が自由にできる体の理論を理解し本質的な面を説明できる。
2. 学校の多項式と方程式を体論を通して一般的に理解し説明できる。身近な問題に応用できる。

- ### ○作業課題:
1. 方程式論と体論の様々な定理の証明と応用の理解
 2. 学校の多項式と方程式の体論を用いた考察
 3. 高次代数方程式の根号による解法についての考察
 4. 作図問題の不可能性についての考察

「幾何学Ⅰ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 円錐曲線論と多面体の数学について理解し, 空間図形の世界の豊かさ・面白さを説明できる。
2. 学校で扱う空間図形の性質をより深く知るための見方・考え方を理解し指導に活かすことができる。

- ### ○作業課題:
1. 円錐曲線の折り紙による構成とその構造・応用の理解
 2. 円錐曲線と立方体の切断面の考察
 3. 多面体の模型作成と構造の理解, 見取り図の描画
 4. 展開図の一般的性質の考察
 5. 角柱の分割を用いた角錐の体積公式の説明

「幾何学Ⅱ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 古典的なユークリッド幾何と, 射影で形を見る射影幾何を理解し本質的な面を説明できる。
2. 学校の平面幾何の特性, 構造, 面白さを理解し説明できる。身近な問題に応用できる。

- ### ○作業課題:
1. ユークリッド幾何と射影幾何の様々な定理の証明と応用の理解
 2. 学校での平面幾何の全体構造の分析
 3. 射影で得られる形の考察

「幾何学Ⅲ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 連続の概念で形を見るトポロジーについて理解し、本質的な要素を説明できる。
2. 図形の世界を新たな初等的発想で見ることにより、その豊かさを説明できる。

○作業課題:

1. 連続変形による形の分類法の理解
2. 具体的な形の連続変形による分類
3. 曲面の多角形による構成と分類の理解
4. 図形の不変量の理解と不変量を用いた分類

「幾何学特論」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 微分で形を見る微分幾何と相似を元とするフラクタル幾何を理解し、考え方を説明できる。
2. 微分と相似が身の周りで見られる形の探究に役立つことを理解し、学校数学の意義を説明できる。

○作業課題:

1. 微分を用いて曲線の曲がり方を数値で表す曲率概念の理解
2. 身近な応用例を知ることによる曲率概念の有用性の理解
3. 海岸線の長さの計測とフラクタル的特徴の理解
4. 自己相似集合、フラクタル集合、非整数次元の本質の理解

「解析学Ⅰ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 関数概念、微分積分の概念を理解し、身近に現れる察や関係を分析するための技術を身につける。
2. 学校、社会で現れる数量やその関係を簡単な計算を通して理解する態度や技術を身につける。

○作業課題:

1. 関数概念の理解
2. 関数の変化等の定量的理解と諸概念を通しての理解
3. 日常に現れる諸概念の関数概念を通しての理解
4. 式を通して定量的概念を捉える能力を身につけると共に、その計算力も養う

「解析学Ⅱ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 多変数関数の微分・積分を通し、面積、体積等の概念や、極値問題について理解する。
2. 学校数学に現れた数量概念の厳密な定義を理解し、更に広い対象に対してその概念を適用できる。

○作業課題:

1. 多変数関数に現れる諸概念の理解
2. 関数の変化の割合の定量的理解と諸概念の理解
3. 微分・積分を通した面積や体積の厳密な解釈
4. 式から幾何学的概念を捉える能力を身につけると共に、その計算力も養う

「解析学Ⅲ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 実数の概念を更に拡張した複素数、その上の関数の性質について理解する。
2. 高校までに習った複素数の性質を確認すると共に、その上で微積分を行うことにより、実数上だけでは得られなかった新たな世界が展開されることを体験する。

○作業課題:

1. 複素数を含めた数の概念の獲得
2. 実数関数では現れない複素概念の世界を理解し味わう
3. 日常に現れる諸概念の関数概念を通しての理解
4. 複素の世界を通して見る現実世界および計算を通しての理解

「解析学特論」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 微分方程式の基本概念を理解し、簡単な解法を身につける。
2. 自然界の現象を記述する有力な武器であることを認識すると共に、今までの数学的概念が、縦横に用いられていることを味わう。

○作業課題:

1. 基本的な微分方程式の解法とそれにより記述された自然現象の理解
2. 微分方程式の基本定理の理解
3. 日常に現れる様々な現象を数理的に解釈しようとする態度の育成

「確率・統計学」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 確率の初歩的事項を理解し、本質的な面を説明できる。
2. 学校数学における確率を理解できる。身近な問題に適用できる。

- ### ○作業課題:
1. 確率の初歩的事項の理解
 2. 期待値、分散の計算

「確率・統計学特論」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 統計の初歩的事項を理解し、本質的な面を説明できる。
2. 学校で用いられる統計を理解できる。成績の解析ができる。

- ### ○作業課題:
1. 統計の初歩的事項の理解
 2. データから平均、分散、偏差値の計算方法の理解

「計算数学」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 計算機を用いた初歩的な計算、解析が可能である。
2. 教材作りや成績評価に計算機を活用できる。

- ### ○作業課題:
1. 計算機を用いた数、数式の理解
 2. 素因数分解、因数分解の理解
 3. 有理数と無理数の理解

「計算数学特論」

○到達目標:

○作業課題:

「基礎数学Ⅰ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 高校数学の基礎が理解でき、本質的な面を説明できる。
2. 集合の概念、数の分類が理解でき説明できる。行列の計算ができる。

- ### ○作業課題:
1. 高校数学基礎の理解
 2. 集合、論理記号の理解
 3. 複素数の理解
 4. 行列の理解

「基礎数学Ⅱ」

○到達目標:

【授業力:教科内容の理解】

1. 高校で学んだ微分積分学について復習し、更に理解を深める。
2. 関数と極限、微分、積分の基礎概念や考え方を理解する。

- ### ○作業課題:
1. 高校までに学んだ数概念、関数概念、微積分の概念について理解の定着
 2. 基本的な計算力の定着
 3. 抽象的思考力の獲得

卒業研究

「卒業研究」

○到達目標:

○作業課題:

カリキュラムマップ

中学校教育専修(数学科教育コース)

区分	科目名	使命感		倫理観		教育人間力		探究心		職業		対人関係能力		協働力		社会性		基本的態度		生徒指導力		指導力		授業力		観察力		省察力					
		教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする意識をもって、指導にあたることができる。	高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職務を果たすことができる。	子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。	教育だけでなく、様々な分野や事象に対して広く関心を持ち、自らの力量向上に向け、日々探究し続けようとする。	社会人として生涯にわたって基礎となる幅広い教養とスキルを身につける。	教員としての職務や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をすることができる。	組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して職務をリーダーシップを発揮しながら遂行することができる。	保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。	子どもに対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。	子どもに対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。	子どもの発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。	子どもとの間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、子どもが互いに高め合える、規律ある学級経営を行うことができる。	教科等の背景にある専門知識・芸術に関する豊かな知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し授業づくりに活かすことができる。	教科等の背景にある専門知識・芸術に関する豊かな知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し授業づくりに活かすことができる。	教科書の理解	教科書や学習指導要領の内容の理解を基盤として、適切な教育目標を設定し、それを達成する授業を構想することができる。	話し方、書き方、表情など基本的な表現力を基盤として、様々な教育技術を駆使して、教育目標を達成する授業・学習活動を展開することができる。	子どもの反応や学習の定着状況を考慮又は想定して、省察的に授業計画や学習形態等を検討し改善できる。	変化する学校現場の状況の中で、自己の教育実践を絶えず反省・評価し、改善していくことができる。													
教養基礎科目	日本国憲法									憲法の人権・統治機構規定が市民生活においていかなる意義をもつかについて理解する。																							
	科学と環境									常に新しい知見を取り入れ、合理的に環境および環境問題を理解しようとする。																							
	開発と環境									環境と開発におけるジレンマを認識し開発に係る意思決定について理解する。																							
	紛争と平和									国際秩序の限界とそれを克服する試みにつき学際的な知の蓄積に触れ、主体的判断ができるようになる。																							
	人口と食糧問題									グローバルな視点から人口増加と食糧不足という現実的課題に向き合い、問題を解決する力を身につける																							
	生体メカニズムと生命倫理																																
	科学技術と社会																																
	人権確立の歴史										人権に関する課題の歴史的経緯を学際的に考察し、自分の考えで論述することができる。																						
	市民社会と公共性										「公共性」という観点から、実社会におけるルール上の必要性を学習する。																						
	地域社会研究										遍路歩き実習を通して、目標達成への強い意志を育成できる。	グループ行動により、仲間に対するいたわりの心を育み、これを教育に活かすことができる。	地域文化を知的・体験的に活かし、身の回りの事柄から高い知識欲への萌芽を育てる。	遍路文化の知識を基に、他の社会文化への興味を育てる。	グループ行動により、対人関係の意識を育てる。	グループ行動により、メンバー間の協調性を育てる。	遍路歩き実習を通して、道徳心の向上を図る。																
西洋の文化研究										モデルとなりうる普遍的な文化伝統への親しみを育成する																							
東洋の文化研究										伝統的に日本人が陶冶してきた、東洋の文化を継承する態度を涵養する。																							
阿波学(地域文化研究)																																	

カリキュラムマップ

中学校教育専修(数学科教育コース)

区分	科目名	教育者能力					協働力			生徒指導力			授業力					省察力									
		使命感	倫理観	教育者能力	探究心	職業	対人関係能力	協働力	社会性	基本的態度	個人指導力	集団指導力	教科内容の理解	理解力	実践力	展開力	評価力										
教養基礎科目	健康・スポーツ科学 I	教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする意識をもって、指導にあたることができる。	高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職務を果たすことができる。	子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。	教育だけでなく、様々な分野や事象に対して広く関心をもち、自らの力量向上に向け、日々探究し続けようとする。	社会人として生涯にわたって基礎となる幅広い教養とスキルを身につける。	教員としての職務や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。	組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協働して職務をリーダーシップを発揮しながら遂行することができる。	保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。	子どもに対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。	子どもの発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。	子どもとの間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、子どもが互いに高め合える、規律ある学級経営を行うことができる。	教科等の背景にある専門知識・芸術に関する豊かな知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し授業づくりに活かすことができる。	教科書の背景にある専門知識・芸術に関する豊かな知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し授業づくりに活かすことができる。	子どもの学習における実態の理解・把握	子どもの授業目標の分類と設定	授業構成(教育内容の構成/教科の選択・構成/授業過程の組織/学習法・学習形態の選択・構成)	単元計画(単元(授業)計画の作成/学習指導案の作成/学習評価計画の作成)	基礎的・基本的な授業態度(音声・表情・所作等)	教授活動の構成と展開(声や集団への配慮/説明/助言・指示/板書/教材・教具の活用/演技・表現性)	学習活動の喚起と促進(授業の流れや分節化への配慮/発問/子どもの発言・行為への対応/学習環境の構成とマネジメント/学習活動への即時的対応)	学習活動に対する評価(形成的評価/中間巡回/学習評価法の工夫)	子どもの反応や学習の定着状況を考慮又は想定して、省察的に授業計画や学習形態等を検討し改善できる。	変化する学校現場の状況の中で、自己の教育実践を絶えず反省・評価し、改善していくことができる。			
	健康・スポーツ科学 II	生涯スポーツとして技術と習慣性を習得し、スポーツに対する好意的態度を高める。	スポーツを通して、モラルやルールを遵守する態度を高め、倫理観を養う。	スポーツの潜在的な危険を安全に実施する態度を養い、危機管理の必要性を理解する。	スポーツの本質的な価値や身体的・精神的な影響について客観的知識のもと理解する。	歴史的背景を踏まえ、観戦・情報・報道からスポーツが社会に与える影響を思索できる。	他者との対戦、チームでの協力等、スポーツにより、コミュニケーション能力を高める。	スポーツの戦術・戦略的思考や対戦から、他者との関係性を築き、協調性を高める。	スポーツを通して地域・学校・社会の様々な人間関係を構築し、広域性を理解する。	スポーツを通して、公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。	スポーツを科学的・客観的知識を理解し、具体的な運動では、各種の運動技術の意味を力学的に理解する。	生理学や医学・力学・心理学などスポーツを介した学際的領域としての基礎的な知見を理解する。	社会的な情報を踏まえ、スポーツ社会学・経営学などを理解する。	スポーツの技術と習慣性を習得し、スポーツに対する好意的態度を高める。	スポーツを通して、モラルやルールを遵守する態度を高める授業を展開できる。	スポーツを安全に実施する態度を養い、危機管理の必要性を理解する。	種々の情報・知識からスポーツの社会や生活に与える影響を思索できる授業を展開する。	スポーツの技術指導のために様々な言葉がけやでデモンストレーション能力を高める。	スポーツ指導で客観的知識のもと分かりやすい言葉遣いと感情に働きかける支援を行う。	スポーツを安全に実施する環境を整え、教員法や危機管理能力を習得する。	子どもたちにルール・モラルを遵守する態度を養い、安全・平等に学習を展開する。	子どもたちのスキル・態度・知識の定着をその行為から省察・改善できる。	自身のより望ましい体力・スポーツの取り組み・態度を習得できるような環境を考える。				
	基礎情報教育				情報分野についてのプロジェクトを展開し、情報活用能力の基礎を身につける。																						
	実践情報教育 I				情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、情報活用の実践力を身につける。																						
	実践情報教育 II																										
	実践情報教育 III																										
	英語コミュニケーション I				英語コミュニケーションに関する自信や能力を獲得し、英語話者と対話し幅広く考えることができる。																						
	英語コミュニケーション II																										
	英語コミュニケーション III																										
	英語コミュニケーション IV																										
英語コミュニケーション V				社会の国際化が要請する新しい教育課題や教育現場そのものの国際化を視野に入れ、これから教員になろうとしている本学学生を対象に、国際語としての英語でのコミュニケーション能力の伸張をはかるとともに、異文化を直接体験することによって教育現場において異文化理解教育や国際理解教育を推進していくための力量を高める。																							
英語リーディング I												英文の構造理解と段落ごとの内容理解を鍵として、英語リーディングを実践する。	自学習システムのE-learningを活用して、コンピュータ利用の英語学習を実践する。														
英語リーディング II					TOEIC500点レベルのテキストを用いて、ビジネス英語に慣れる。							英文の構造を理解するとともに、英文読解の基礎となる語彙力を底上げする。	自学習システムのE-learningを活用して、コンピュータ利用の英語学習を実践する。														

区分	科目名	使命感	倫理観	教育者としての使命感	探究心	職業	対人関係能力	協働力	社会性	基本的態度	生徒指導力	集団指導力	教科内容の理解		授業力		展開力		評価力	省察力	
		教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする意識をもって、指導にあたることができる。	高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職務を果たすことができる。	子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。	教育だけでなく、様々な分野や事象に対して広く関心をもち、自らの力量向上に向け、日々探究し続けようとする。	社会人として生涯にわたって基礎となる幅広い教養とスキルを身につける。	教員としての職務や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。	組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力をしながら遂行することができる。	保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。	子どもに対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。	子どもに対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。	子ども自身の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。	子どもとの間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、子どもが互いに高め合える、規律ある学級経営を行うことができる。	教科等の背景にある専門知識・芸術に関する豊かな知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し、授業づくりに活かすことができる。	教科等の背景にある専門知識・芸術の知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し、授業づくりに活かすことができる。	教科書や学習指導要領の内容の理解を基盤として、適切な教育目標を設定し、それを達成する授業を構想することができる。	話し方、書き方、表情など基本的な表現力を基盤として、様々な教育技術を駆使して、教育目標を達成する授業・学習活動を展開することができる。	子どもの反応や学習の定着状況を考慮して、省察的に授業計画や学習形態等を検討し改善できる。	変化する学校現場の状況の中で、自己の教育実践を絶えず反省・評価し、改善していくことができる。		
教職共通科目	初等社会科教育論																				
	算数科教育論																				
	初等理科教育論																				
	生活科教育論																				
	初等音楽科教育論																				
	図画工作科教育論																				
	体育科教育論																				
	初等家庭科教育論																				
	道徳教育指導論																				
	特別活動指導論																				
授業研究論																					
教育評価論																					
教育工学																					

カリキュラムマップ

中学校教育専修(数学科教育コース)

区分	科目名	使命感	倫理観	教育人間力 教育的感情	探究心	敬愛	対人関係能力	協働力 協働性	社会性	基本的態度	生徒指導力 個人指導力	集団指導力	教科内容の理解	授業力	表現力	評価力	省察力	
		教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする意識をもって、指導にあたることができる。	高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職務を果たすことができる。	子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。	教育だけでなく、様々な分野や事象に対して広く関心をもち、自らの力量向上に向け、日々探究し続けようとする。	社会人として生涯にわたって基盤となる幅広い教養とスキルを身につける。	教員としての職務や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。	組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して職務をリーダーシップを発揮しながら遂行することができる。	保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。	子どもに対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。	子どもの発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。	子どもとの間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、子どもが互いに高め合える、規律ある学級経営を行うことができる。	教科等の背景にある専門諸科学・芸術に関する豊かな知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し、授業づくりに活かすことができる。	教科等の背景にある専門諸科学・芸術の知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し、授業づくりに活かすことができる。	教科書や学習指導要領の内容の理解を基盤として、適切な教育目標を設定し、それを達成する授業を構想することができる。	話し方、書き方、表情など基本的な表現力を基盤として、様々な教育技術を駆使し、教育目標を達成する教授・学習活動を展開することができる。	子どもの反応や学習の定着状況を客観的に観察し、授業計画や学習形態等を検討し改善できる。	変化する学校現場の状況の中で、自己の教育実践を絶えず反省・評価し、改善していくことができる。
専修専門科目	解析学Ⅰ												関数概念、微分積分の概念を理解し、身近に現れる素や関係を分析するための技術や技術を身につける。	学校、社会で現れる数量やその関係を簡単な計算を通して理解する態度や技術を身につける。				
	解析学Ⅱ												多変数関数の微分・積分を通じ、面積、体積等の概念や、極値問題について理解する。	学校数学に現れた数量概念の厳密な定義を理解し、更に広い対象に対してその概念を適用できる。				
	解析学Ⅲ												実数の概念を更に拡張した複素数、その上の関数の性質について理解する。	高校までに習った複素数の性質を確認すると共に、その上で微積分を行うことにより、実数上だけでは得られなかった新たな世界が展開されることを体験する。				
	解析学特論												微分方程式の基本概念を理解し、簡単な解法を身につける。	自然界の現象を記述する有力な武器であることを認識すると共に、今までの数学的概念が、縦横に用いられていることを味わう。				
	確率・統計学												確率の初歩的事項を理解し、本質的な面を説明できる。	学校数学における確率を理解できる。身近な問題に適用できる。				
	確率・統計学特論												統計の初歩的事項を理解し、本質的な面を説明できる。	学校で用いられる統計を理解できる。成績の解析ができる。				
	計算数学												計算機を用いた初歩的な計算、解析が可能である。	教材作りや成績評価に計算機を活用できる。				
	計算数学特論												計算機を用いた初歩的な計算、解析が可能である。	教材作りや成績評価に計算機を活用できる。				
	基礎数学Ⅰ												高校数学の基礎が理解でき、本質的な面を説明できる。	集合の概念、数の分類が理解でき説明できる。行列の計算ができる。				
基礎数学Ⅱ												高校で学んだ微積分学について復習し、更に理解を深める。	関数と極限、微分、積分の基礎概念や考え方を理解する。					
卒業研究	卒業研究	(算数・数学)																